

2578人、真剣に

平成27年度 入学式



小宮一仁学長は式辞で、建学の経緯や教育理念にふれた後、表現することの重要性を訴えた。「アイデアや思いは形にしなければ他人に理解してもらえない。頭の中のイメージを形にして発信する力が、技術力であり表現力です」と語り、語彙力や造形力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の習得

月1日、平成27年度の千葉工業大学入学式が幕張メッセ（千葉市美浜区）イベントホールで行われた。写真。今年度の志願者数は創立以来最多となる約5万3000人を記録。5倍近い競争倍率を突破した新入生は、真新しいスーツに身を包み、晴れやかな笑顔で大学生生活のスタートを切った。

行と二話の話の



在学生代表 岩本さん
と力強く宣誓。眞摯なまなざしで式に臨んだ新入生を、保護者や本学公式キャラクターのチバニーチーを見守った。

瀬戸熊修理事長は、超高齢化社会を迎える日本は豊かさを実感できる社は努めるよう励ました。会にならなくてはいけないと指摘。その実現には「アイデアと技術力を駆使し、実用へと導く理工系の人材の存在が欠かせない」と述べた。

「常に向上心を」宣誓

「常にならなくてはいけないと指摘。その実現には「アイデアと技術力を駆使し、実用へと導く理工系の人材の存在が欠かせない」と述べた。

新入生代表 塚本さん

世界に飛び躍してくた
さい」と呼びかけた。

在学生を代表して 岩本早希子さん（デザイン科学科4年）は「能動的に学びさまざまな経験を積むこと、人との出会いを大切にする心を心がけ、充実した大学生活を送ってください」と歓迎の言葉を贈った。

「常に向上心を」宣誓

自分の夢をカタチにしよう——学生たちを応援し続ける本学が、人気マング「宇宙兄弟」とコラボレーション。高等教育機関とマンガ作品というジャンルを超えて、夢に向かって挑戦することの大切さを若者たちに伝えれる。

田嶋さんが2000年から講談社「モー」、「エイジ」誌に連載中の人気漫画。夢をかなえ宇宙飛行士になった弟と、挫折から再び宇宙飛行士を目指す兄の、励まし合い、諦めない姿が描かれる。

レーリーで、2010年漫遊ノ年
編予定の工部・先進学部、PRする。「Tech
をテーマに、冊子・WEにて、これまで
は変更学部ます。

レーシヨン。第弾で
2016年4月に改
編予定の工学部・創造工
学部・先進工学部(※)を
Rするプロジェクト
「Technology+」
セーマン、ポスターを
田子・WEBサイト展開
されてい。

千葉工大 × 宇宙兄弟 『夢コラボ』始動！



内閣維持
AA—安定的」

本学「基準に適合」
第二者機関が認定
千葉工業大学は平成29年度、公益財団法人日本高等教育評価機構による「大学機関別認証評価」を受け、3月10日付で「構が定める大学評価基準に適合している」と認定

認証評価制度は、平成14年の学校教育法改正で、大学が教育研究などの状況について7年に一度、文部科学大臣の認証を受けた第三者評価機関（認証評価機関）の評価を受けるもの。16年度からすべての国公私立大学が評価を受けるよう義務付けられている。本学は20年度に続き今回が2度目の受審（評価の詳細は本学ホームページをご参照ください）。

高い格付け維持

本学はAA
— 安定的 —

本学「基準に適合
第三者機関が認定

された。写真は認定証。

建学の精神「世界文化に技術で貢献する」

研究センター（f u R）は3月17日、自動車部品製造大手のアイシン精機株（藤森文雄社長）と共同で企画・開発した「f u R」とアイシン共同開発

本学未来ロボット技術研究センター（f u R）は3月17日、「ILY-A（アイリーエー）」を発表した。利用シーンに応じて4スタイルに変形。ベビーカーと同じ大きさでありながら、ロボット技術を応用した「知能化安全技術」を搭載している。4月14日からイタリアで開催された世界最大のデザインエキシビション「ミラノデザインウイーク2015」で披露された。

近未来3輪に注目

3月17日、東京スカイツリータウンキャンパスで行われた記者会見にはNHK、日本テレビなどの中継局をはじめ主要全国紙、専門紙、誌など45社の記者やカマラマン

が集まり、「千葉工大のロボット」に対する報道陣の関心の高さを示していた。

テレvisions番組から取り上げられ、リポーターが実際に走行してみる。ILY-A（アイリーエー）は、自転車の「ILY-A」に試乗して機能を説明する場面などが各局で放送された。

また、翌日の朝刊では朝日新聞が一面で取り上げたのをはじめ、地方紙

を含めた多くの新聞が記事を掲載。古田貴之f u R所長の「幅広い年齢層の生活スタイルを変える次世代の足」として広めたい（毎日新聞）などの言葉を紹介した。

ウェブサイトや専門紙

「ILY-A」はInnovative Life for you の頭文字を取って略したもので、「A」はActive。アクティブなライフスタイルをサポートするペーナルセビリティーや

バイク、キャリート、カート、キャリーバッグ、カート、キャリーバッグなどを機能などを紹介。「ILY-A」の名は全国に知れ渡った。

さらに4月14日から19日までイタリア・ミラノで開催された「ミラノデ

ザンウイーク2015」にも出展。古田所長以下10人の開発スタッフが、アイシンの担当者とともに世界から集まつた

報道陣へのプレゼンテーションやデモンストレー

ションを行い、ILY-A（アイ

ス）も「ILY-A」の名を

「Chiba Institute of Technology」の名を

世界に印象付けた。

「ILY-A」は、ロボット技術や知能化安全技術

が集まり、「千葉工大のロボット」に対する報道

陣の関心の高さを示していた。

テレvisions番組から取り上げられ、リポーターが実際に走行してみる。ILY-A（アイリーエー）は、自転車の「ILY-A」に試乗して機能を説明する場面などが各局で放送された。

また、翌日の朝刊では朝日新聞が一面で取り上げたのをはじめ、地方紙

を含めた多くの新聞が記事を掲載。古田貴之f u R所長の「幅広い年齢層の生活スタイルを変える次世代の足」として広めたい（毎日新聞）などの言葉を紹介した。

ウェブサイトや専門紙

「ILY-A」はInnovative Life for you の頭文字を取って略したもので、「A」はActive。アクティブなライフスタイルをサポートするペーナルセビリティーや

バイク、キャリート、カート、キャリーバッグ、カート、キャリーバッグなどを機能などを紹介。「ILY-A」の名は全国に知れ渡った。

さらに4月14日から19日までイタリア・ミラノで開催された「ミラノデ

ザンウイーク2015」にも出展。古田所長以下10人の開発スタッフが、アイシンの担当者とともに世界から集まつた

報道陣へのプレゼンテーションやデモンストレー

ションを行い、ILY-A（アイ

ス）も「ILY-A」の名を

「Chiba Institute of Technology」の名を

世界に印象付けた。

「ILY-A」は、ロボット技術や知能化安全技術

が集まり、「千葉工大のロボット」に対する報道

陣の関心の高さを示していた。

テレvisions番組から取り上げられ、リポーターが実際に走行してみる。ILY-A（アイリーエー）は、自転車の「ILY-A」に試乗して機能を説明する場面などが各局で放送された。

また、翌日の朝刊では朝日新聞が一面で取り上げたのをはじめ、地方紙

を含めた多くの新聞が記事を掲載。古田貴之f u R所長の「幅広い年齢層の生活スタイルを変える次世代の足」として広めたい（毎日新聞）などの言葉を紹介した。

ウェブサイトや専門紙

「ILY-A」はInnovative Life for you の頭文字を取って略したもので、「A」はActive。アクティブなライフスタイルをサポートするペーナルセビリティーや

バイク、キャリート、カート、キャリーバッグ、カート、キャリーバッグなどを機能などを紹介。「ILY-A」の名は全国に知れ渡った。

さらに4月14日から19日までイタリア・ミラノで開催された「ミラノデ

ザンウイーク2015」にも出展。古田所長以下10人の開発スタッフが、アイシンの担当者とともに世界から集まつた

報道陣へのプレゼンテーションやデモンストレー

ションを行い、ILY-A（アイ

ス）も「ILY-A」の名を

「Chiba Institute of Technology」の名を

世界に印象付けた。

「ILY-A」は、ロボット技術や知能化安全技術

が集まり、「千葉工大のロボット」に対する報道

陣の関心の高さを示していた。

テレvisions番組から取り上げられ、リポーターが実際に走行してみる。ILY-A（アイリーエー）は、自転車の「ILY-A」に試乗して機能を説明する場面などが各局で放送された。

また、翌日の朝刊では朝日新聞が一面で取り上げたのをはじめ、地方紙

を含めた多くの新聞が記事を掲載。古田貴之f u R所長の「幅広い年齢層の生活スタイルを変える次世代の足」として広めたい（毎日新聞）などの言葉を紹介した。

ウェブサイトや専門紙

「ILY-A」はInnovative Life for you の頭文字を取って略したもので、「A」はActive。アクティブなライフスタイルをサポートするペーナルセビリティーや

バイク、キャリート、カート、キャリーバッグ、カート、キャリーバッグなどを機能などを紹介。「ILY-A」の名は全国に知れ渡った。

さらに4月14日から19日までイタリア・ミラノで開催された「ミラノデ

ザンウイーク2015」にも出展。古田所長以下10人の開発スタッフが、アイシンの担当者とともに世界から集まつた

報道陣へのプレゼンテーションやデモンストレー

ションを行い、ILY-A（アイ

ス）も「ILY-A」の名を

「Chiba Institute of Technology」の名を

世界に印象付けた。

「ILY-A」は、ロボット技術や知能化安全技術

が集まり、「千葉工大のロボット」に対する報道

陣の関心の高さを示していた。

テレvisions番組から取り上げられ、リポーターが実際に走行してみる。ILY-A（アイリーエー）は、自転車の「ILY-A」に試乗して機能を説明する場面などが各局で放送された。

また、翌日の朝刊では朝日新聞が一面で取り上げたのをはじめ、地方紙

を含めた多くの新聞が記事を掲載。古田貴之f u R所長の「幅広い年齢層の生活スタイルを変える次世代の足」として広めたい（毎日新聞）などの言葉を紹介した。

ウェブサイトや専門紙

「ILY-A」はInnovative Life for you の頭文字を取って略したもので、「A」はActive。アクティブなライフスタイルをサポートするペーナルセビリティーや

バイク、キャリート、カート、キャリーバッグ、カート、キャリーバッグなどを機能などを紹介。「ILY-A」の名は全国に知れ渡った。

さらに4月14日から19日までイタリア・ミラノで開催された「ミラノデ

ザンウイーク2015」にも出展。古田所長以下10人の開発スタッフが、アイシンの担当者とともに世界から集まつた

報道陣へのプレゼンテーションやデモンストレー

ションを行い、ILY-A（アイ

ス）も「ILY-A」の名を

「Chiba Institute of Technology」の名を

世界に印象付けた。

「ILY-A」は、ロボット技術や知能化安全技術

が集まり、「千葉工大のロボット」に対する報道

陣の関心の高さを示していた。

テレvisions番組から取り上げられ、リポーターが実際に走行してみる。ILY-A（アイリーエー）は、自転車の「ILY-A」に試乗して機能を説明する場面などが各局で放送された。

また、翌日の朝刊では朝日新聞が一面で取り上げたのをはじめ、地方紙

を含めた多くの新聞が記事を掲載。古田貴之f u R所長の「幅広い年齢層の生活スタイルを変える次世代の足」として広めたい（毎日新聞）などの言葉を紹介した。

ウェブサイトや専門紙

「ILY-A」はInnovative Life for you の頭文字を取って略したもので、「A」はActive。アクティブなライフスタイルをサポートするペーナルセビリティーや

バイク、キャリート、カート、キャリーバッグ、カート、キャリーバッグなどを機能などを紹介。「ILY-A」の名は全国に知れ渡った。

さらに4月14日から19日までイタリア・ミラノで開催された「ミラノデ

ザンウイーク2015」にも出展。古田所長以下10人の開発スタッフが、アイシンの担当者とともに世界から集まつた

報道陣へのプレゼンテーションやデモンストレー

ションを行い、ILY-A（アイ

ス）も「ILY-A」の名を

「Chiba Institute of Technology」の名を

世界に印象付けた。

「ILY-A」は、ロボット技術や知能化安全技術

が集まり、「千葉工大のロボット」に対する報道

陣の関心の高さを示していた。

テレvisions番組から取り上げられ、リポーターが実際に走行してみる。ILY-A（アイリーエー）は、自転車の「ILY-A」に試乗して機能を説明する場面などが各局で放送された。

また、翌日の朝刊では朝日新聞が一面で取り上げたのをはじめ、地方紙

を含めた多くの新聞が記事を掲載。古田貴之f u R所長の「幅広い年齢層の生活スタイルを変える次世代の足」として広めたい（毎日新聞）などの言葉を紹介した。

ウェブサイトや専門紙

「ILY-A」はInnovative Life for you の頭文字を取って略したもので、「A」はActive。アクティブなライフスタイルをサポートするペーナルセビリティーや

バイク、キャリート、カート、キャリーバッグ、カート、キャリーバッグなどを機能などを紹介。「ILY-A」の名は全国に知れ渡った。

さらに4月14日から19日までイタリア・ミラノで開催された「ミラノデ

ザンウイーク2015」にも出展。古田所長以下10人の開発スタッフが、アイシンの担当者とともに世界から集まつた

報道陣へのプレゼンテーションやデモンストレー

ションを行い、ILY-A（アイ

ス）も「ILY-A」の名を

「Chiba Institute of Technology」の名を

世界に印象付けた。

「ILY-A」は、ロボット技術や知能化安全技術

が集まり、「千葉工大のロボット」に対する報道

陣の関心の高さを示していた。

テレvisions番組から取り上げられ、リポーターが実際に走行してみる。ILY-A（アイリーエー）は、自転車の「ILY-A」に試乗して機能を説明する場面などが各局で放送された。

また、翌日の朝刊では朝日新聞が一面で取り上げたのをはじめ、地方紙

を含めた多くの新聞が記事を掲載。古田貴之f u R所長の「幅広い年齢層の生活スタイルを変える次世代の足」として広めたい（毎日新聞）などの言葉を紹介した。

ウェブサイトや専門紙

「ILY-A」はInnovative Life for you の頭文字を取って略したもので、「A」はActive。アクティブなライフスタイルをサポートするペーナルセビリティーや

バイク、キャリート、カート、キャリーバッグ、カート、キャリーバッグなどを機能などを紹介。「ILY-A」の名は全国に知れ渡った。

さらに4月14日から19日までイタリア・ミラノで開催された「ミラノデ

ザンウイーク20

青空にロケットが飛んだ！

伊豆大島で高校生13人

ロケットガール＆ボーイ養成講座



ロケットを持込み記念撮影



発射台に備え付け作業

伊豆大島で高校生がロケットの打ち上げを目指してきました「2014年首都圏版ロケットガール＆ボーイ養成講座」（12月20日～3月22日）は本学主催）は3月21、22日、伊豆大島三原山実験フィールド（男子9人、女子4人）。

長約2m、重さ約10kg、液体触媒+固体燃料のハイブリッドロケット（全

飛行高度約350m）を「チームで、自分たちの力で」設計から打ち上げまでこなすと、初回ミーティングから2チームに分かれて励んできた。

初日は悪天候で打ち上げ延期。翌日は汗ばむらいの好天に。2チームのロケットが真っ青な空に打ち上げられ、目的の

活動などの一助にするため飼育を開始。3月24日、飼育の場となる御宿研修センターの水槽に、石田義廣御宿町長と瀬戸瀬戸熊理事長は「教育

熊理事長の手で移された。瀬戸熊理事長は「教育難しかった」と話した。

本学は昨年6月、御宿町と包括的連携協定を締結した。協力事業を行ってきた。昨年夏には御宿町での第1回学生交流プログラムを開催など、個別に同町と

田有希さん（未来ロボティクス学科1年・当時）は「ロケット作りは高校生に任せ」TAは主にスケジュール管理や物品購入を支援し、目上の人へのメールの仕方や部屋の整頓、時間厳守などを積極的に教えます。今回、高校生にここまで教えたよいのか、線引きが難しかった」と話した。

本学は昨年6月、御宿町と包括的連携協定を締結した。協力事業を行ってきた。昨年夏には御宿町での第1回学生交流プログラムを開催など、個別に同町と

田有希さん（未来ロボティクス学科1年・当時）は「ロケット作りは高校生に任せ」TAは主にスケジュール管理や物品購入を支援し、目上の人へのメールの仕方や部屋の整頓、時間厳守などを積極的に教えます。今回、高校生にここまで教えたよいのか、線引きが難しかった」と話した。

本学は昨年6月、御宿町と包括的連携協定を締結した。協力事業を行ってきた。昨年夏には御宿町での第1回学生交流プログラムを開催など、個別に同町と

御宿町から天然記念物

「ミヤコタナゴ」本学研修センター水槽に



元気に泳ぐミヤコタナゴ



御宿研修センターに設けられた水槽

御宿町在住で天体観測が趣味の田中節子さんから、本学へ天体望遠鏡とドーム式が寄贈された。贈られたのはビクセンSX極軸望遠鏡ED103Sレンズ式とドーム（幅1・35m、高さ2m）。天の北極に向けて緯度経度を設定すれば方向を自動で保つ。

田中さんは数年前に天体望遠鏡を購入したが、自身で設定できなかった。御宿研修センターがあることから本学に問い合わせ、天文研究部の寺本英央君（機械サイエン

天体望遠鏡。プレゼント

御宿の田中さんが本学に

ス学科2年・当時）、小介君（電気電子情報工学科2年・当時）、川治義

田原純君（同）、奥野舜科2年・当時）、瀬戸熊理事長は「天体望遠鏡はその後、自宅からほど近い御宿研修センターへ移設、高台から海が見下ろせる中庭に設置された。



①天体望遠鏡のドームと田中さん、瀬戸熊理事長
②ドーム内部から



千葉工業と包括的連携協定を締結している千葉県夷隅郡御宿町から、同町で増殖に成功した国の天然記念物「ミヤコタナゴ」が、日本関東地方に生息していないコイ科タナゴ亜科アブロフサボテ属の魚。近年激減しており、国内指定されている。

購買に新グッズ

大学オリジナルグッズの新商品が、4月1日から津田沼、新習志野両キャンパスの購買で販売されている。

新たに仲間入りしたのは公式キャラクター「チバニー」グッズなどで、いずれもデザイン科学科の学生らがデザインした。まずは購買の工大オリジナルグッズコーナーに足を運んでみよう！（詳しくは（株）シー・アイ・ティ・サービスのホームページ <http://www.cit-s.com/> のバナー「工大オリジナルグッズ ON SALE」をクリック）

CIT WATER

島根県金城町の自然豊かな採水地でボトリングされたミネラルウォーターが本学プライベートブランド商品として誕生。ボトルラベルに大学から発信される技術や人材が花開く様子が表現され、ミネラルウォーターの透明感とマッチしている。

デザイン＝今井洵君・4年（指導教員・松崎元教授）



サクマドロップス缶やCIT WATER

iPad mini オリジナルケース（工大オリジナルマーク Ver）

（2000円＝税込み）

毎年、新入生に配布される iPad mini。4年間使用するものだからこそ、ケースにはこだわってほしい。そんな思いを込めて商品化。スクールカラー（紫紺）をイメージしたネイビーを配色し、中央には商品限定のオリジナルマークを。

iPad mini オリジナルケース（チバニー Ver）

（2000円＝税込み）

チバニーを生かしたシンプルさにこだわったデザイン、チバニーがいつでもあなたの iPad mini を守ってくれます（iPad mini と iPad mini 2 の兼用ケースです）。

デザイン＝皆川伸吾さん・修士課程2年（指導教員・赤澤智津子教授）

サクマドロップス×チバニーコラボ缶

（270円＝税込み）

昔ながらのおいしさで、幅広く愛されているサクマドロップスとのコラボ商品。チバニーグッズ定番のライトブルーカラーでさわやかに。かわいいチバニーが果汁入りを教えていく。

デザイン＝皆川伸吾さん

実用へと導く、付加価値の高い理工系人材は欠くことのできない存在であります。まさにここに居ります。

超高齢化社会に直面する我が国は、国際競争力の向上、活力のある地域創生、医療・介護サービスの効率化など重要課題に果敢に取り組み、豊かな実感できる社会を築きあげなければなりません。

その実現には、未来を築く最先端技術開発からグローバルに人々の生活を一変させる、まったく新しい商品開発、生活を堅実に支える製品開発・運用まで、新しいアイデアと高い技術力を駆使し

ます。皆さんを千葉工業大学に迎えられたことを、学生そして教職員一同に心から喜んでいます。併せてご列席のご父母・ご家族の皆様にお祝いとお喜びを申し上げま

さて、現在我が国では、労働人口が減少する中で、付加価値の高い理工系人材育成の戦略的取り組みがはじまるうとしています。

皆さん、入学おめでとう。皆さんを千葉工業大学に迎えられたことを、学生そして教職員一同に心から喜んでいます。併せてご列席のご父

母・ご家族の皆様にお祝いとお喜びを申し上げま

す。併せてご列席のご父母・ご家族の皆様にお祝いとお喜びを申し上げま

る皆さんのことと、社会は大きな期待をして

ます。併せてご列席のご父母・ご家族の皆様にお祝いとお喜びを申し上げま

瀬戸熊修理事長 祝辞



る皆さんのことと、社会は大きな期待をして

ます。併せてご列席のご父母・ご家族の皆様にお祝いとお喜びを申し上げま

る皆さんのことと、社会は大きな期待をして

ます。併せてご列席のご父母・ご家族の皆様にお祝いとお喜びを申し上げま

る皆さんのことと、社会は大きな期待をして

ます。併せてご列席のご父母・ご家族の皆様にお祝いとお喜びを申し上げま

る皆さんのことと、社会は大きな期待をして

ます。併せてご列席のご父母・ご家族の皆様にお祝いとお喜びを申し上げま

「技術で貢献」夢を持つて

誇れる理工系

お分かり頂けるものと思

います。

世界初の流星観測用力

メラ「メテオ」は、今年

の6月13日に再度打ち上

げられる予定になつてお

り、この打ち上げが成功

します。

お分かり頂けるものと思

います。

世界初の流星観測用力

メラ「メテオ」は、今年

の6月13日に再度打ち上

げられる予定になつてお

り、この打ち上げが成功

します。

世界初の流星観測用力

メラ「メテオ」は、今年</p



3月10日に行われた企業説明会

企業側の採用意欲が高まりを見せており、今年の3月10日に行われた企業説明会には、建築・土木、IT関連が好調で、機械系など製造業もいい。学生諸君のスタートの動きも快調です」と、就職・進路支援部の福江聰次長はいう。

「景気の上向きを背景に、企業の採用意欲は非常に高まっています。特に建築・土木、IT関連が好調で、機械系など製造業もいい。学生諸君のスタートの動きも快調です」と、就職・進路支援部の福江聰次長はいう。

こうした状況を反映して、3月10、11日の学内合同企業説明会には16社、4月15、16、17日には172社が参加。5月、6月にも学内合同企業説明会を開催する予定だ。

企業側の採用意欲が高まりを見せており、今年の3月10日に行われた企業説明会には、建築・土木、IT関連が好調で、機械系など製造業もいい。学生諸君のスタートの動きも快調です」と、就職・進路支援部の福江聰次長はいう。



（輸送計画・運行管理・運転操縦など）について最新研究が発表される国際会議「第6回鉄道オペレーションにおけるモデル解析国際会議（Rail TOKYO 2015）」が鉄道オペレーション国際研究協会（IA ROR）主催、日本鉄道運転協会など後援が3月23～26日、本学津田沼校舎2号館大教室などを会場に、20カ国約230人が参加して開かれた

津田沼校舎で国際会議

“鉄道オペ”に20カ国230人

（輸送計画・運行管理・運転操縦など）について最新研究が発表される国際会議「第6回鉄道オペレーションにおけるモデル解析国際会議（Rail TOKYO 2015）」が鉄道オペレーション国際研究協会（IA ROR）主催、日本鉄道運転協会など後援が3月23～26日、本学津田沼校舎2号館大教室などを会場に、20カ国約230人が参加して開かれた

新会長に富井教授
基調講演ではJR東日本の大川野邊修・常務取締役が、首都圏や新幹線の高密度な列車運行など、利便性向上に向けた取り組み▽JR九州の青

技術、数学、経済などの各学者が鉄道オペレーション分野にあらゆる手

発見！ 未来人

オリエンタルモーター株式会社
MC事業部技術部モーター技術1課

石橋 未彩さん

2012年、未来ロボティクス学科卒

在学中は「cmオーダーの水陸両用移動ロボットに関する研究」に取り組みました。未口ボという学科は、1年生から座学で学んだ内容を踏まえたロボットを製作する実習が行え、楽しく講義を受けられました。

大学祭では、たくさんのサークルの模擬店がとても充実していて、それらを食べ歩きしたことが、楽しい思い出です。

現在の仕事は、機能を追加したモーターのラインアップ展開。自分が設計した部品が、モーターとして無事組み上がった瞬間は、「頑張ってよかった！」と生き甲斐を感じます。今後は、モーターの特性に関して理解を深めた



モーター技術1課の職場で

いと思っています。オリエンタルモーターは、とても風通しがよく、教育が整っている会社です。このことは会社説明会でも聞いており、また入社前に自分で想像していたイメージ通りでした。年次が低くてもさまざまな業務にチャレンジさせてもらえるので、充実した会社生活を送っています。

精密小型モーターおよび制御用電子回路などの開発・製造・販売。医療機器・半導体製造装置・計測機器・食品機械など、さまざまな分野で装置の高精度化、省力化、高速化を実現しています。

所在地

〒110-8536 東京都台東区東上野4-8-1

売り手市場、就活本番

内定時期巡り揺れる企業 お盆休みも支援窓口継続へ



から選考の解禁、その後内定出しという流れになってしまって、多くの企業は8月1日前にできただけ多くの学生を確保したい

企業側のこのような動向に対応して、大学側も就職活動に不安を感じて、多くの中堅・中小企業は8月以降も採用活動を継続する方針のようだ。

一方で選考・採用状況が厳しい業界もある。そのような業界にこだわり続けないと最終的に就職が難くなる可能性もある。

「ともかく今年は企業にとっても試行錯誤の連続。就職活動に不安を感じたり、分からぬこと

があったりしたら、どんどん就職課にきてください。本学は今年、1万2000社を超える企業から選考の申込みがあると予想しています。就職

課は、必ず学生諸君の期待に応えられます」と福江次長は呼びかけていた。

「社会人としての常識を身に付け、ビジネスマークを備えている」と、合格者は就職活動でも有利な秘書技能検定で、本学は公益財団法人・実務技能検定協会から平成26年度の団体優秀賞を受賞した。同賞の受賞は22年

度以来4年ぶり。月試験の団体受験校・事業所2030のうち団体優秀賞を受賞したのは本学のみわずか65だった。

「秘書技能検定に合格したことで自信がつき、就職面接でも自分の言葉で堂々と話すことができた」という声を聞きます。履歴書の取得資格の欄に

4年ぶり団体優秀賞

26年度秘書技能検定

柳俊彦社長が、クルーズトレインななつ星in九州など各種観光列車による鉄道の魅力を高める取り組み――を紹介。招待講演では超伝導リニアの開発経緯、L0系車両の

形状などが紹介された。IAROR会議ではハ

セン会長が退任。新会長に富井教授が指名され、次回は2017年にフランスのリールで開かれることになった。

「JR九州では内定辞退が続出するのではないか」とある中堅企業の採用担当者は不安を隠さない。しかし、採用担当者は不安を隠さない。

